

合同開催

第11回協働実践研究会 第13回外国語授業実践フォーラム

♪ 日時:2017年 2月25日(土) 10:20~17:30

※受付は10:00から

♪ 場所:早稲田大学22号館201 他

♪ 研究会参加費:資料代500円

♪ 参加申込み方法:以下のサイトからお申込みください。

<http://kokucheese.com/event/index/449710/>

♪ 申込み〆切:2月15日(水)

10:00- 受付

10:20 開会式

10:30-11:30 ポスター発表

♪201教室

①駒澤千鶴(国際関係学院)・菅田陽平(北京大学大学院生)・朱桂榮(北京外国語大学)「『協働型教師コミュニティ』における活動から得た『学び』とは—ICTの活用を目指して」

②中野敦(公益財団法人国際文化フォーラム)・張河林(東京大学大学院生)・張玥(同左)「保護者が中高生、教職員と共に学ぶ中国語と韓国語教育の実践」

③藤原恵美(早稲田大学大学院生)「日本語学校の対話型授業の問題点と課題—学習者同士の対話を中心とした実践授業からの考察」

④渡邊晶子(大阪大学大学院生)「高等学校における中国語アクティブラーニングの導入効果」

♪206教室

⑤神村初美(首都大学東京)・小原寿美(広島文教女子大学)・奥村匡子(神奈川大学)・野村愛(首都大学東京)・金孝卿(大阪大学)・池田玲子(鳥取大学)「看護と介護の日本語教師研修に『ケース学習』を用いる試み」

⑥鈴木寿子(早稲田大学)・小浦方理恵(麗澤大学)・唐澤麻里(文化外国語専門学校)「自律的成長のための教師研修デザイン—対話的問題提起学習とロールレタリングを行った5年間の継続的協働実践」

⑦橋本 愛(九州国際大学)「『ゲームで体験 中華圏での生活』すころく制作プロジェクト」

11:30-12:00 口頭発表①

♪201教室:中川正臣(目白大学)・亀井みどり(上智大学)・植村麻紀子(神田外語大学)「多言語の教師が集まる『参加型研究会』をいかに創り出していくか—参加者の声をもとに活動内容を考える」

♪206教室:村元麻衣(名古屋大学)「マルチメディアを使ったドイツ語授業」

12:00-12:30 口頭発表②

♪201教室:能登慶和(獨協医科大学)「SNSを用いたドイツ語学習の可能性」

♪206教室:岩崎浩与司(早稲田大学)「遠隔対話の場はどのように作られるか—参加者間の働きかけに着目して」

12:30-14:00 昼休み:発表者との「お昼の語り場」

14:00-16:30 合同企画パネルディスカッション@201教室

16:30-17:30 まとめ・諸連絡・閉会のあいさつ

協働実践研究会 & 外国語授業実践フォーラム合同企画パネルディスカッション

「学習者・教師の多様性を活かした学習デザイン

—『協働』をテーマとした言語教育の環境整備を考える」

山下誠(神奈川県立鶴見総合高等学校)・野澤督(慶應義塾大学)・

本郷智子(東京農工大学)・金孝卿(大阪大学)

お問い合わせ:協働実践研究会

MAIL kyodo.jissen.kenkyukai@gmail.com

URL <http://kyodo-jissen-kenkyukai.com/>